

平成23年度決算総会 高山会長を再任

新旧問わず講習受講徹底を



ら引継いだ残余財産に関し、献血や薬物乱用防止啓発などの業務行政協力事業や薬草勉強会等の都民に対する薬事知識の普及啓発事業に有効に活用する考えを改めて示したほか、記念事業の一環として東京都薬物乱用防止推進協議会に三十万円を寄付することを報告し、明年度以降も同協議会に事業資金の寄付を継続して行い、配置協会への認識、存在感を高めて行きたいと語った。

さらに高山会長は「配置の役目は得意先に安心をお届けすること。一般でも副作用事例が報告されており、われわれ自身がまず添付文書等の内容を熟知するなど、薬の専門家としての自覚を持ち、常に自己研鑽に努め資質向上を図っていくことが責務」と述べ、既存・新法業者を問わず講習受講の徹底などを求めた。

一般社団法人東京都医薬品配置協会の第三十二回定期決算総会は六月十二日午後二時三十分から中野区の「なかのZERO」小ホールでひらかれ、平成二十三年度の事業・決算報告を承認するとともに、役員改選で高山友三郎会長を再任した。

岡田松市副会長の司会で始まり、あいさつした高山会長は、終戦直後の荒廃した世相にヒューマンイズムの灯をともした先輩諸氏の労苦に敬意を表するとともに、昨年から作業を進めてきた社団法人設立三十周年記念誌がこのほど発刊の運びとなったことを報告。また従前の社団法人か

また藤井基之参議院議員は、新販売制度の下で医薬品の販売が認められているのは店舗販売業と卸売販売業、

配置販売業の三つだけと指摘し「セルフメディケーション推進の担い手として貢献を」と求めたほか、医薬品販売のネット訴訟に言及し、「ネットに相応しいルールが必要。責任を負わないネット専業業者が安易に販売することは国民にとって不幸」と警鐘を鳴らした。

石倉宗昌相談役を議長に選任し、定数確認(会員二百五名中、百三十二名出席、うち委任状提出六十八名)、議事録署名人選任(新舗優、岡田松市の両氏)のあと、議事を開始。

服部利明副会長兼専務理事から平

平成24年度予算総会

協会独自に自己点検表

一般社団法人東京都医薬品配置協会の平成二十四年度予算総会は、三月八日午前十時から「なかのZERO」小ホールで開催され、会員百十一名(委任状含む)が出席した。

岡田松市副会長が司会を務め、服部利明副会長兼専務理事が開会を宣し、昨年三月に発生した東日本大震災の犠牲者に黙祷を奉げたあと、岡田

成二十三年度事業報告、会計担当の岡田副会長から同年度収支決算報告が行われ、中村聡監事の監査報告とともに、いずれも異議なく承認。一般正味財産の期末残高は九百四十四万五千八百六十六円。

任期満了に伴う役員改選では各支部、組合、部会等から推薦された理事二十名、監事三名を了承し、理事互選で高山会長を再任、副会長に志摩忠夫、服部利明、室井邦春、小川孝一の四氏を選任した。

再任された高山会長は会員減によって会費収入が減少している中、役員は無報酬とし費用弁償費のみ計上している現状を説明しながら、当面は会費値上げを行わない意向を示すとともに、資質向上講習について既存・新配置を問わず従来の座学十八

中には自己中心の考えで会費を納めない者もいるが、与えられることだけを求めるのではなく、自分がどんな協力をしたか、どんな協力ができたかを考え行動してほしい」と呼びかけた。

議長に居野家雅郎相談役、議事録署名人に岩瀬一郎、室井邦春の両氏を選任して議事を開始。

平成二十四年事業計画は服部副会長、同収支予算案(収支一、一三五万九、〇〇〇円)は会計担当兼務の岡田副会長がそれぞれ発表し、原案を可決した。

事業計画では、資質向上義務化対策講習会、都委託講習会(二回)等の会員教育指導事業、麻薬・覚せい剤等撲滅運動や献血推進への協力を中心とした業務行政協力事業、都民に対する薬事知識の普及啓発事業

時間の講習を継続して実施する考えを述べ、行政サイドには他府県の動向も踏まえながら身分証明書の更新時などに受講済証の添付を求める働きを強めたいとした。

その他の件では、服部副会長から厚生労働省が一月に公表した一般用医薬品販売制度定着状況調査結果や監視指導強化と自己点検実施を求める通知に対応し、協会が独自に作成した自己点検表の説明が行われ、適切な対応が求められた。

ここで表彰式に移り、優良配置販売業者三名、永年勤続配置販売業者六名、同従事者七名を表彰したほか、退任役員五氏に感謝状を贈呈。

受賞者を代表して岡田松市氏が謝辞を述べ(写真上)、室井邦春副会長の閉会の辞で総会を終了した。

その他の件では、服部副会長が▽資質向上講習の受講徹底▽登録販売者試験の受験要件となる実務経験の経過措置の三年延長▽厚労省通知に基づき自己点検の励行を説明。特に自己点検に関しては、厚労省通知を受け、資質向上講習会の講師を務める清水虎雄氏らに交えて簡素化した分かりやすく継続しやすい自己点検表を協会独自に作成中であることが伝えられ、「いずれ行政から自己点検表の確認や提出が求められる場合も想定される」とし、新制度への適切な対応を求めた。

また資質向上講習の講師団について、平成二十四年度から岸岡勝美氏に代わって元日本薬剤師会専務理事の渡辺徹氏が講師を務めることを報告。室井邦春副会長の閉会の言葉で総会を終了した。

表彰受賞者

●退任役員感謝状受賞者

- 岡田松市 (副会長兼会計)
- 館川英夫 (理事)
- 平澤一男 (理事)
- 井上忠之 (理事)
- 久住英雄 (監事)

◆優良配置販売業者

- 青山稔 (東部支部)
- 吉村奈保子 (多摩支部)
- 三澤久樹 (西部支部)

◆永年勤続表彰

【配置販売業者】

- 50年 = 小川孝一、永野龍夫、酒井宏政
- 40年 = 岡田松市、廣田たつ子
- 30年 = 村井一文

【配置従事者】

- 20年 = 一之瀬秀男 (三山薬品(株))、森田裕一 (森田重雄)
- 10年 = 川手宏之 (三山薬品(株))、前中善寛 (株富山堂薬品)
- 5年 = 阿部将二 (株富山堂薬品)、人見麗奈 (三山薬品(株))、高城知己 (株富山堂薬品)



講師 = 清水虎雄氏 受講者 = 201名

第2回

3月8日
なかのZERO



講師 = 今泉真知子氏 受講者 = 199名

第1回

2月7日
武蔵野スイングホール

5回の座学講習開催 128名に修了証

平成24年は、予備講習を含め5回の座学講習(18時間+6時間)と通信教育(12時間)を実施。同年から新たに元日本薬剤師会専務理事の渡辺徹氏が講師団に加わった。

資質向上講習